SCORM適合LMS情報

LMS名称 バージョン	Generalist/LM 5
ベンダー名	東芝ソリューション株式会社
ログファイル名	200992815715_LMSRTE_Log.htm／TestLog_9_28_1528.htm
適合レベル	LMS-RTE2

◇対応データモデル

1. 以下の表にあるSCORM1.2のデータモデルにおいて、LMSでの対応状況を「対応」の欄に○、×で記入する。
2. データモデルの設定値がLMSの履歴情報等で学習者から参照できる場合は、各項目ごとにどのように表示されるかを「履歴情報での表示」欄に記入する。
例）cmi.core.lesson_status - passed → 合格
cmi.core.score.raw - 78 → 78点、78/100、78%
3. その他、SCORMコンテンツの動作の際に注意すべきことがあれば「備考」の欄に記入す
※ 背景色のあるデータモデルはオプションデータモデル。

データモデル	設定値（例）	対応	履歴情報での表示	備考
cmi.core._children		○		
cmi.core.student_id		○	d9031862	
cmi.core.student_name		○	日本 太郎	
cmi.core.lesson_location		○		
cmi.core.credit	credit	○		
	no-credit	×		
cmi.core.lesson_status	passed	○	passed	
	completed	○	修了	
	failed	○	failed	
	incomplete	○	学習中	
	browsed	○	学習中	
	not attempted	○	未学習	
cmi.core.entry	ab-initio	○		
	resume	○		
	空文字列	○		
cmi.core.score._children		○		
cmi.core.score.raw		○	78.00	
cmi.core.score.max		○		
cmi.core.score.min		○		
cmi.core.total_time		○		
cmi.core.lesson_mode	browse	×		
	nomal	○		
	review	×		
cmi.core.exit	time-out	○		
	suspend	○		
	logout	○		
	空文字列	○		
cmi.core.session_time		○		
cmi.suspend_data		○		
cmi.launch_data		○		
cmi.comments		○		
cmi.comments_from_lms		×		
対応の場合コメントはどのように設定するか？				
cmi.objectives._children		○		
cmi.objectives._count		○		
cmi.objectives.n.id		○		
cmi.objecitves.n.score._children		○		
cmi.objectives.n.score.raw		○		
cmi.objectives.n.score.max		○		
cmi.objectives.n.score.min		○		
cmi.objectives.n.status	passed	○		
	completed	○		
	failed	○		
	incomplete	○		
	browsed	○		
	not attempted	○		

cmi.student_data._children		○		
cmi.student_data.mastery_score		○		
SCOから渡された得点に基づいて lesson_statusが変更されるか？	変更されない。			
cmi.student_data.max_time_allowed		○		
cmi.student_data.time_limit_action		○		
cmi.student_preference._children		×		
cmi.student_preference.audio		×		
cmi.student_preference.language		×		
cmi.student_preference.speed		×		
cmi.student_preference.text		×		
cmi.interactions._children		×		
cmi.interactions._count		×		
cmi.interactions.n.id		×		
cmi.interactions.n.objectives._count		×		
cmi.interactions.n.objectives.n.id		×		
cmi.interactions.n.time		×		
cmi.interactions.n.type		×		
cmi.interactions.n.correct_responses._count		×		
cmi.interactions.n.correct_responses.n.pattern		×		
cmi.interactions.n.weighting		×		
cmi.interactions.n.student_response		×		
cmi.interactions.n.result	correct	×		
	wrong	×		
	unanticipated	×		
	neutral	×		
	x.x	×		
cmi.interactions.n.latency		×		

◇imsmanifest

前提条件が設定されている目次は前提条件がクリアされない限り学習できないか？
（　　）Yes　　（　○　）No

imsmanifestはどの文字コードに対応しているか？
（ ○ ）UTF-8　　（　　）Shift JIS　　その他（　○ unicode　）

imsmanifestで必須の項目があるか？　あれば詳細を記入する。
（　<?xml>のversion、<manifest>のxmlns:adlcpとxmlns:xsi
）

その他imsmanifestを作成する上で注意すべき点があれば記入する。
（
）

◇コンテンツ

コンテンツパッケージをLMSに搭載する方法を以下から選択する。
（　　）圧縮していないコンテンツパッケージをそのままアップロードする
（　　）圧縮したコンテンツパッケージをそのままアップロードする
（　　）圧縮・非圧縮の両方に対応し、コンテンツパッケージをそのままアップロードする
（　　）圧縮したコンテンツパッケージをLMS独自形式に変換しアップロードする
（ ○ ）非圧縮のコンテンツパッケージをLMS独自形式に変換しアップロードする
　対応する圧縮の形式　（　ZIP　　）

htmlファイルでフレームを使用することができるか？
（ ○ ）Yes　　（　　）No

◇LMSの機能等

LMSで使用しているプラグイン（Java等）があればその名称とバージョンを記入する。
（　J2SE5.0

LMSの操作ボタンでAPI関数を発行するか？そうであればボタン名と発行するAPI関数の内容を記入する。
（　発行しない

◇その他

その他、コンテンツを制作する上で、必要なもしくは役立つ情報があれば記入する。
（